

内閣總理大臣
内閣總理大臣

法制局長官

明治四十一年三月三十一日

四

五

外務省
陸軍省
海軍省
農林省
司法省
郵政省
内務省
水陸軍省

別紙兩院ノ議決ヲ經タル陸軍刑法案
ヲ審査スルニ衆議院議長上奏ノ通裁
可ヲ奏請セラレ可然ト認ム

法律案

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル陸軍刑法
ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治四十一年四月九日

内閣總理大臣
陸軍大臣

法律第四十六號
上奏案，通

別紙奏上有之度候也

明治四十一年三月二十四日

衆議院議長杉田定一

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

衆議院書記官長林田龜太郎



衆議院ハ兩院ノ議ヲ
經タル陸軍刑法案ノ裁
可ヲ奉請入

明治四十一年三月二十四日

衆議院議長杉田定一

陸
軍
刑
法
案

衆議院書記官長林田亀太郎

陸軍刑法

第一編 總則

第二編 罪

第一章 叛亂ノ罪

第二章 擅權ノ罪

第三章 辱職ノ罪

第四章 抗命ノ罪

第五章 暴行脅迫ノ罪

第六章 侮辱ノ罪

第七章 逃亡ノ罪

第八章 軍用物損壊ノ罪

第九章 掠奪ノ罪

第十章 俘虜ニ關スル罪

第十一章 違令ノ罪

二

陸軍刑法

第一編 總則

〔小字及
ハ貴族院修正〕

第一條 本法ハ陸軍軍人ニシテ罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

第二條 本法ハ陸軍軍人ニ非スト雖左ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

一 第六十七條乃至第七十條ノ罪及此等ノ罪ノ未遂罪

二 第七十七條ノ罪

三 第八十九條乃至第八十八條ノ罪

四 第八十九條乃至第九十條ノ罪

五 第九十四條乃至第九十木條ノ罪及第九十四條、第九十五條ノ未遂罪

六 第九十八條第一項、第九十九條、第一百條第二項及第一百一十條ノ罪

第三條 本法ハ前二條ニ記載シタル者帝國外ニ於テ罪ヲ犯シタルトキト雖之ヲ適用ス

一

第四條 帝國軍ノ占領地ニ於テ陸軍軍人刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シタルトキハ之ヲ帝國內ニ於テ犯シタルモノト看做ス

陸軍軍人ニ非スト雖帝國臣民、從軍外國人及俘虜ノ犯シタルトキ亦前項ニ同シ

第五條 帝國外ニ在ル部隊ニ屬シ若ハ從フ者又ハ之ニ俘虜タル者其ノ部隊ノ所在地ニ於テ刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シタルトキ亦前條ニ同シ

第六條 陸軍ト共同作戦ニ從フ海軍軍人ニ對スル行爲ハ其ノ職務、官等、等級又ハ階級ニ相當スル陸軍軍人ニ對スル行爲ト看做ス

第七條 陸軍ト共同作戦ニ從フ外國ノ陸海軍ニ屬スル者ニ對スル行爲ハ其ノ職務、官等、等級又ハ階級ニ相當スル陸軍軍人ニ對スル行爲ト看做ス但シ其ノ外國ニ於テ同一ノ取扱ヲ爲スコトヲ保セサル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條 陸軍軍人ト稱スルハ左ニ記載シタル者ヲ謂フ

一 陸軍ノ現役ニ在ル者但シ未タ入營セサル者及歸休兵ヲ除ク

二 召集中ノ在郷軍人

三 召集ニ依ラス部隊ニ在リテ陸軍軍人ノ勤務ニ服スル在郷軍人

四 前二號ニ記載シタル者ノ外陸軍ノ制服著用中又ハ現ニ服役上ノ義務履行中ノ在郷軍人

五 志願ニ依リ國民軍隊ニ編入セラレ服務中ノ者

第九條 左ニ記載シタル者ハ陸軍軍人ニ準ス

一 陸軍所屬ノ學生、生徒

二 陸軍軍屬

三 陸軍ノ勤務ニ服スル海軍軍人

前項第一號ニ記載シタル者ノ中特ニ除外スヘキ者アルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 陸軍將校相當官、陸軍准士官、海軍將校、同相當官。及海軍准士官ハ陸軍將校ニ準ス陸軍士官ノ候補者ニシテ士官ノ勤務ニ服スル者及海軍候補生亦同シ

第十一條 陸軍士官ノ候補者ニシテ下士ノ階級ニ在リ士官ノ勤務ニ服セサル者ハ陸軍下士ニ準ス
第十二條 陸軍ノ兵役ニ在リテ官等、等級ヲ有セサル者ハ兵卒ニ準ス 陸軍士官ノ候補者ニシテ兵
卒ノ階級ニ在ル者亦同シ

第十三條 在郷軍人ト稱スルハ陸軍ノ現役以外ノ役ニ在ル者、陸軍ノ現役ニ在リテ未タ入營セサ
ル者、陸軍ノ歸休兵及退役陸軍將校、同相當官、准士官ヲ謂フ

第十四條 陸軍軍屬ト稱スルハ陸軍文官、同待遇者及宣誓シテ陸軍ノ勤務ニ服スル者ヲ謂フ 但シ
豫備又ハ退職ノ文官ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 海軍軍人ト稱スルハ海軍刑法ニ於テ海軍軍人ト爲ス者ヲ謂フ

第十六條 上官ト稱スルハ命令關係アル陸軍軍人間ニ於テ命令權ヲ有スル者ヲ謂フ

命令關係ナキ者ノ間ニ於テハ官等、等級又ハ階級ノ上ナル者ハ之ヲ上官ニ準ス 但シ兵卒ハ下士
勤務上等兵ヲ除クノ外總テ同等トス

第十七條 司令官ト稱スルハ軍隊ノ司令ニ任スル陸軍軍人ヲ謂フ

第十八條 哨兵ト稱スルハ儀仗又ハ警戒ノ爲守地ニ在ル陸軍軍人ヲ謂フ

第十九條 部隊ト稱スルハ陸軍ノ軍隊、官衙、學校、特務機關及戰時ニ於ケル陸軍ノ特設機關ヲ謂フ

第二十條 戰時ト稱スルハ宣戰ノ公布アリタル時又ハ現ニ開戰シタル時ヨリ卒和克復ノ時迄ヲ謂

第二十一條 軍中ト稱スルハ左ニ記載シタル部隊ニ在ル場合ヲ謂フ

一 戰時ノ體勢ヲ執リタル部隊但シ留守部隊、衛戍勤務ニ服スル後備又ハ國民諸隊、戰地以外ノ
地ニ在ル輸送又ハ補給諸機關ニシテ對敵狀態ニ在ラサルモノヲ除ク

二 戰時ノ體勢ヲ執ラサルモ對敵狀態ニ在ル部隊

三 内亂事變又ハ一地方ノ騒擾ニ際シ其ノ鎮定ニ從事スル部隊

第二十二條 陸軍ニ於テ死刑ヲ執行スルトキハ陸軍法衙ヲ管轄スル長官ノ定ムル場所ニ於テ銃殺ス

第二十三條 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ニ依リ處斷シタル場合ニ亦之ヲ適用ス

第二十四條 ^(二) 多衆共同ノ暴行ヲ鎮壓スル爲又ハ敵前ニ在ル部隊ノ急迫ニ臨ミ軍紀ヲ保持スル爲已ムコトヲ得サルニ出テタル行爲ハ之ヲ罰セス

必要ノ程度ヲ超エタル行爲ハ情狀ニ因リ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二十五條 ^(三) 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ノ罪ト爲ルヘキ行爲ニ亦之ヲ適用ス

第二十六條 本法ニ依リ死刑ニ處セラレタル者其ノ執行ヲ免除アリタル日ヨリ五年内ニ更ニ本

法、刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シ有期徒役ニ處スヘキトキハ前ノ罪ヲ懲役ニ該ル罪ト同質ノ罪

ト認ムルトキニ限り之ヲ再犯トス

第二十七條 ^(四) 本法及海軍刑法ニ於テ俱ニ罰スヘキ正條アリ且其ノ刑ニ輕重ナキトキハ陸軍軍人ニ

準スル者ト雖海軍軍人ニ對シテハ海軍刑法ヲ適用ス

第二編 罪

第一章 叛亂ノ罪

第二十八條 ^(五) 黨ヲ結ヒ兵器ヲ執リ反亂ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁ハ死刑ニ處ス

二 謂議ニ參與シ又ハ群衆ノ指揮ヲ爲シタル者ハ死刑、無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處

シ其ノ他諸般ノ職務ニ從事シタル者ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 附和隨行シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第二十九條 ^(六) 反亂ヲ爲ス目的ヲ以テ黨ヲ結ヒ兵器、彈薬其ノ他軍用ニ供スル物ヲ劫掠シタル者ハ

前條ノ例ニ同シ

第三十條 ^(二十七) 左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス

一 軍隊又ハ要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル場所。^{建造物其ノ他ノ}若ハ物ヲ敵國ニ交付^{スルコト}シタルトキ

二 敵國ノ爲ニ間諜ヲ爲シ又ハ敵國ノ間諜ヲ幫助シタルトキ

三 軍事上ノ機密ヲ敵國ニ漏泄シタルトキ

スルコト

四 敵國ノ爲ニ嚮導ヲ爲シ又ハ地理ヲ指示シタルトキ

スルコト

五 敵國ニ降ラシムル爲司令官ヲ強要シタルトキ

スルコト

六 敵國ノ爲ニ俘虜ヲ奪取シ又ハ之ヲ逃走セシタルトキ

スルコト

第二十八條 敵國ヲ利スル爲左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス

建造物其ノ他ノ

一 要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル場所。又小物ヲ損壊シ又ハ使用スルコト能ハ

サルニ至ラシタルトキ

二 水陸ノ通路、橋梁ヲ損壊又ハ壅塞シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ軍隊、艦船ノ往來ノ妨害ヲ生セ

ムルコト
シタルトキ

三 司令官軍隊ヲ率ヰテ守地若ハ配置ノ地ニ就カヌ又ハ其ノ連絡集合ヲ妨害シタルトキ

ルルコト

四 隊兵ヲ解散シ又ハ其ノ潰走混亂ヲ誘起シ又ハ其ノ連絡集合ヲ妨害シタルトキ

スルコト

五 兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ヲ缺乏セシタルトキ

ムルコト

六 命令、通報若ハ報告ヲ詐リ傳ヘ又ハ虛偽ノ命令、通報若ハ報告ヲ爲シタルトキ

スコト

七 造言飛語シ又ハ敵前ニ於テ叫呼喧噪シタルトキ

スルコト

第二十九條 前二條ニ記載シタル以外ノ方法ヲ以テ敵國ニ軍事上ノ利益ヲ與ヘ又ハ帝國ノ軍事上

ノ利益ヲ害シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第三十條 反亂者又ハ内亂者ヲ利スル爲前三條ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑、無期若

ハ三年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第三十四條 前六條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三十五條 第二十八條乃至第三十條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ一年以上ノ有期ノ懲

役又ハ禁錮ニ處ス

第三十^(三)六條 第二十一^(五)八條又ハ第二十九^(六)九條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者未タ事ヲ行ハサル前自

首シタルトキハ其ノ刑ヲ免除ス

第三十七條 本章ノ規定ハ戰時同盟國ニ對スル行為ニ亦之ヲ適用ス

第二章 擅權ノ罪

第三十八條^(五) 司令官外國ニ對シ故ナク戰鬪ヲ開始シタルトキハ死刑ニ處ス

第三十九條^(六) 司令官休戰又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタル後故ナク戰鬪ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第四十條^(三十七) 司令官權外ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ軍隊ヲ進退シタルトキハ

死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第四十一條^(三十八) 命令ヲ待タス故ナク戰鬪ヲ爲シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第四十二條^(三十九) 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三章 辱職ノ罪

第四十三條 司令官其ノ盡スヘキ所ヲ盡サヌシテ敵ニ降リ又ハ要塞ヲ敵ニ委シタルトキハ死刑ニ

處ス

第四十四條 司令官野戰ノ時ニ在リテ隊兵ヲ率井敵ニ降リタルトキハ其ノ盡スヘキ所ヲ盡シタル

場合ト雖六月以下ノ禁錮ニ處ス

處ス

第四十五條^(二) 司令官敵前ニ於テ其ノ盡スヘキ所ヲ盡サヌシテ隊兵ヲ率井逃避シタルトキハ死刑ニ
ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ五年以上ノ有期禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第四十七條 司令官出兵ヲ要求スル權アル官憲ヨリ其ノ要求ヲ受ケ故ナク之ニ應セサルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第四十八條 將校部隊若ハ一部ノ兵員ヲ率井又ハ之ニ屬シ輸送船舶ニ在リテ敵ノ艦船ニ遭遇シタル際其ノ盡スヘキ所ヲ盡サヌシテ其ノ船舶ヲ退去シタルトキハ死刑、無期若ハ十年以上ノ懲役

又ハ禁錮ニ處ス

第四十九條 部下多衆共同シテ罪ヲ犯スニ當リ鎮定ノ方法ヲ盡ササル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十條 哨兵故ナク守地ヲ離レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十一條 哨兵睡眠又ハ酩酊シテ其ノ職務ヲ怠リタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十二條 衛兵、控兵、巡察、斥候其ノ他警戒又ハ傳令ノ勤務ニ服スル者故ナク勤務ノ場所若ハ隊伍ヲ離レタルトキ又ハ到ルヘキ場所ニ到ラサルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十三條 故ナク規則ニ依ラスシテ哨兵ヲ交代セシメ其ノ他哨令ニ違反シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十四條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ軍事ニ關スル命令、通報又ハ報告ノ傳達ヲ掌ル者其ノ命令、通報爲シタルトキハ七年以下ノ懲役ニ處ス

戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ軍事ニ關スル命令、通報又ハ報告ノ傳達ヲ掌ル者其ノ命令、通報若ハ報告ヲ許リ傳ヘ又ハ故ナク之ヲ傳達セサルトキ亦前項ニ同シ

第五十五條 ^(二) 軍事機密ノ圖書、物件ヲ保管スル者危急ノ時ニ當リ之ヲ敵ニ委セサル方法ヲ盡ササ

第五十六條 ^(三) 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ兵器、彈藥糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ノ運搬又ハ支給ヲ掌ル者故ナク之ヲ缺乏セシメタルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第五十七條 ^(四) 健康ヲ害スヘキ飲食物ヲ配給シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第五十八條 ^(五) 從軍ヲ免レ又ハ危險ナル勤務ヲ避ケル目的ヲ以テ疾病ヲ作爲シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐偽ノ行爲ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ五年以上ノ懲役ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第五十九條 ^(六) 第四十王條、第四十五條、第四十六條、第四十八條、第五十條、第五十一條、第五十四條及第五十二條、第五十三條、第五十四條及

第六十條 ^(七) 第六十條乃至第五十八條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四章 抗命ノ罪

第六十一條 ^(五十七) 上官ノ命令ニ反抗シ又ハ之ニ服從セサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ一年以上七年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第六十九條 ^{五十八} 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑又ハ無期禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ首魁ハ無期又ハ五年以上ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑又ハ無期禁錮ニ處ス

十年以下ノ禁錮ニ處ス

第六十九條 ^{五十九} 暴行ヲ爲スニ當リ上官ノ制止ニ從ハサル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第六十九條 ^{六十} 暴行ヲ爲スニ當リ上官ノ制止ニ從ハサル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第五章 暴行脅迫ノ罪

第六十五條 上官ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十四條 ^一 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三十年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十五條 ^二 上官ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用ヰテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十五條 ^二 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ五年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ十年以

一 敵前ナルトキハ死刑、無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ無期若ハ二年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十六條 ^三 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑、無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十七條 哨兵ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス
四

一 敵前ナルトキハ七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十八條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス
五

一 敵前ナルトキハ首魁ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ十年以下ノ懲役

又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十九條 哨兵ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用ヰテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス
六

一 敵前ナルトキハ無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十條 六十七 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス
七

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ無期若ハ七年以上

ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ死刑、無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者

ハ無期若ハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十一條 六十八 上官又ハ哨兵以外ノ陸軍軍人其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

黨與シテ前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ首魁ハ六月以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者

又ハ禁錮ニ處ス

ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十九條 上官又ハ哨兵以外ノ陸軍軍人其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用井テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

黨與シテ前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ首魁ハ無期若ハ三年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十_二條 多衆聚合シテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 他人ヲ指揮シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 附和隨行シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十四條 職權ヲ濫用シテ陵虐ノ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十五條 第六十_二條乃至第七十_二條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第六章 慢辱ノ罪

第七十六條 上官ヲ其ノ面前ニ於テ慢辱シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

文書、圖畫若ハ偶像ヲ公示シ又ハ演説ヲ爲シ其ノ他公然ノ方法ヲ以テ上官ヲ慢辱シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十七條 哨兵ヲ其ノ面前ニ於テ慢辱シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七章 逃亡ノ罪

第七十八_五條 故ナク職役ヲ離レ又ハ職役ニ就カサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑、無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ三日ヲ過キタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ニ於テ六日ヲ過キタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十九條 党與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑、無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ三日ヲ過キタルトキハ首魁ハ五年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ六年以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ニ於テ六日ヲ過キタルトキハ首魁ハ一年以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八章 軍用物損壊ノ罪

第八十九條 敵ニ奔リタル者ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處ス

第八十九條 第七十八^五條第一號、第七十九^六條第一號及前條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八十^一條 露積シタル兵器、彈薬、糧食、被服其ノ他陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ燒燬シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

第八十九條

八

九

十

一

二

三

四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

三十三

三十四

三十五

三十六

三十七

三十八

三十九

四十

四十一

一 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第八十四條 火薬、汽罐其ノ他激發スヘキ物ヲ破裂セシメテ前二條ニ記載シタル物ヲ損壊シタル者ハ燒燬ノ例ニ同シ

第八十五條 第八十九^二條ニ記載シタル物又ハ陸軍戰鬪ノ用ニ供スル鐵道、電線若ハ水陸ノ通路ヲ

損壊シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第八十六條 兵器、彈薬、糧食、被服、馬匹其ノ他陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ毀棄又ハ傷害シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二十三

第八十七條 第八十九條乃至第八十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八十八條 本章ノ規定ハ陸軍ト共同作戦ニ從フ外國陸海軍ノ軍用物ニ對スル行爲ニ亦之ヲ適用

ス

第九章 掠奪ノ罪

第八十九^(六)條 戰地又ハ帝國軍ノ占領地ニ於テ住民ノ財物ヲ掠奪シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯スニ當リ婦女ヲ強姦シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第九十^(七)條 戰場ニ於テ戰死者又ハ戰傷病者ノ衣服其ノ他ノ財物ヲ褫奪シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十一^(八)條 前二條ノ罪ヲ犯ス者人ヲ傷シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處シ死ニ致シタルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第九十二^(九)條 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十章 俘虜ニ關スル罪

第九十三條 俘虜ヲ看守又ハ護送スル者其ノ俘虜ヲ逃走セシメタルトキハ三年以上ノ有期懲役ニ處ス

處ス

第九十四^(一)條 俘虜ヲ逃走セシメタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

俘虜ヲ逃走セシムル目的ヲ以テ器具ヲ給與シ其ノ他逃走ヲ容易ナラシムヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十五^(二)條 俘虜ヲ奪取シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十六^(三)條 逃走シタル俘虜ヲ藏匿シ又ハ隠避セシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第九十七^(四)條 第九十^(二)條乃至第九十五^(一)條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十一章 違令ノ罪

第九十八條 ^五 哨兵ヲ欺キテ哨所ヲ通過シ又ハ哨兵ノ制止ニ背キタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス
一 敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

前項ノ外哨兵ニ對シ哨令ヲ犯シタル者亦前項ニ同シ

第九十九條 ^六 在鄉軍人故ナク召集ノ期限ニ後レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 戰時ニ際シ又ハ事變ノ爲召集ヲ受ケタル場合ニ於テ五日ヲ過キタル者ハ二年以下ノ禁錮ニ

處ス

二 其ノ他ノ場合ニ於テ十日ヲ過キタル者ハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百條 ^{九十七} 兵役ヲ免ルル目的ヲ以テ疾病ヲ作爲シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐偽ノ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

在鄉軍人召集ヲ免ルル目的ヲ以テ前項ノ行爲ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同シ

第一百一條 ^{九十八} 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ軍事ニ關スル虛偽ノ命令、通報又ハ報告ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

ハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百二條 ^{九十九} 戰時又ハ事變ニ際シ軍事ニ關シ造言飛語ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百三條 禮砲、號砲其ノ他空包ヲ發スヘキ場合ニ於テ彈丸、瓦石其ノ他ノ物ヲ裝填シテ發シタル者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百四條 哨兵又ハ衛兵故ナク銃砲ヲ發シタルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百五條 ^二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ急呼ノ號報アリタル場合ニ故ナク來會セサル者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百六條 ^三 政治ニ關シ上書、建白其ノ他請願ヲ爲シ又ハ演說若ハ文書ヲ以テ意見ヲ公ニシタル者

ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第百七條 四 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ六月以上五年以下ノ義務

禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治十四年第六十九號布告陸軍刑法ハ之ヲ廢止ス



陸軍大臣提出陸軍刑法案

右謹テ上奏シ奉シク

聖歲ヲ仰キ儀セテ帝國議會ノ議ニ付セラレムコトヲ請フ

明治四十一年二月十三日

内閣總理大臣候爵西園寺公望印

陸軍

明治四十一年二月八日

四

内閣總理大臣 沖

法制局長官

外務

陸軍

海軍

郵便

逓信

文部

別紙陸軍大臣請議陸軍刑法改正案

ヲ審査スルニ右ハ刑法ノ改正ニ伴ニ且不備ノ點ヲ修補スル為改正ヲ為サムトスルモノニシテ相當ノ儀ト思考ス

依テ請議ノ通閣議決定帝國議會ニ提出セラレ可然ト認ム但シ呈案付箋主務省協議済

法律案

呈案付箋ノ通

陸軍刑法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正十一年二月十九日(月)

内閣總理大臣

陸軍大臣

方

五

參照

方告會

第三章 摘捕	第四章 暴行
第五章 奸淫	第六章 偷窃
第七章 遺失	第八章 逃亡
第九章 詐騙	
陸軍刑法	
第一章 法例	
第二章 刑罰	
第三章 加減刑	
第四章 教罪犯發	
第五章 共犯	
第六章 未遂犯罪	
第二編 重罪輕罪	
第一章 反亂	
第二章 抗命	

●陸軍刑法 (明治十四年十二月)
(第六十九號布告)
陸軍刑法別冊ノ通改定シ明治十五年一月一日ヨリ
之ヲ施行ス
右等勅旨布告候事
(別冊)

陸軍刑法目錄

- 第一編 総則
- 第一章 法例
- 第二章 刑罰
- 第三章 加減刑
- 第四章 教罪犯發
- 第五章 共犯
- 第六章 未遂犯罪
- 第二編 重罪輕罪
- 第一章 反亂
- 第二章 抗命

第一条 此刑法ニ於テ罰ス可キ罪別テ二種ト爲ス
若シ所犯頃布以前ニ在テ未タ判決ナ經サル者ハ
新舊ノ法ナ比照シ輕キニ従テ處斷ス
第三條 軍人ト稱スルハ將官及七司等官上長官士
官下士諸卒ナ謂フ
第四條 军屬ト稱スルハ陸軍出仕ノ文官其他總テ
宣誓者クハ證法ノ式ニ由リ陸軍ニ從事スル者チ
第五條 同官ト稱スルハ一軍一團其他一部隊ト
雖セ總テ其司令ニ任スル者ナ謂フ
第六條 増兵ト稱スルハ機械若クハ警戒ノ爲守
地ニ在ル者ナ謂フ
第七條 上官ト稱スルハ官等ノ上ナル者ナ謂フ同
等ト雖セ命令ヲ下ス可キ權ナ有スル者其部下ニ
於テメ上官ニ同シ上等「卒」及ヒ上等「卒」ノ職チ
奉スル者其部下ニ於ケル亦之ニ準ス
第八條 將校同僚ノ軍人ヘ總テ將校ニ同シ
第九條 軍屬及ヒ陸軍所屬ノ諸生徒ハ總テ軍人ハ
トナ得ス

四 無期流刑	重禁獄ハ九年以上十一年以下輕禁獄ハ六年以上 八年以下ト爲ス
五 有期徒刑	第二十五條 禁錮ハ定役ニ服セス
六 重懲役	服シ難禁錮ハ定役ニ服セス
七 輕懲役	禁錮ハ重輕ナ分タス十一日以上五年以下ト爲シ
八 重禁獄	仍か各六條ニ於テ其長短ナ區別ス
九 輕禁獄	第二十六條 普通刑法第十四條第十五條第十六條 第十八條第十九條第二十一條第二十二條第二十 五條ニ記載スル所ノ主刑處分ノ例ハ此刑法ニ於 テ之ヲ適用ス
一 重禁錮	第二十七條 陸軍法衛ニ於ク普通刑法ニ依リ罰金 科スル所ノ權ナ割奪ス
二 停止公權	第二十八條 罷免公權ハ普通刑法第三十一條ニ記 載スル所ノ權ナ割奪ス
三 因除	第二十九條 重罪ノ刑ニ處スル者ハ別ニ宣告ナ用 ヒく終身公權ナ割奪ス
四 監視	第三十條 罷免公權ナ宣告シテ將校ノ官職ナ割奪ス 下士上等卒軍屬其他ノ官吏此刑法ノ罪ナ犯シ將 校ニ在テ將校ノ官職ナ割奪ナ失フ
五 没収	第三十一條 禁錮ニ處スル者ハ別ニ宣告ナ用ヒス 其刑期間公權ナ行フコトナ停止ス
六 有期徒刑	第三十二條 普通刑法第三十四條第三十七條第三 十八條第三十九條第四十條第四十一條第四十三 條第四十四條ニ記載スル所ノ附加刑處分ノ例ハ 此刑法ニ於テ之ヲ適用ス
七 有期徒刑	第三十三條 下士上等卒ハ此刑法及ヒ普通刑法若 クハ海軍刑法ニ依リ禁錮ニ處シ官職ナ失フト雖 モ兵役ナ免セス其失フ所ノ官職ハ主刑終ルノ日 ヨリ六月ナ經過スルノ後行政ノ處分ナ以テ之
八 以下ト爲ス	
九 五年以上十一年以下輕禁獄ハ六年以上 八年以下ト爲ス	
十 五年以上十一年以下重禁獄ハ九年以上十一年以下 八年以下ト爲ス	
十一 五年以上十一年以下輕禁獄ハ六年以上 八年以下ト爲ス	
十二 五年以上十一年以下重禁獄ハ九年以上十一年以下 八年以下ト爲ス	
十三 五年以上十一年以下輕禁獄ハ六年以上 八年以下ト爲ス	
十四 五年以上十一年以下重禁獄ハ九年以上十一年以下 八年以下ト爲ス	
十五 五年以上十一年以下輕禁獄ハ六年以上 八年以下ト爲ス	
十六 五年以上十一年以下重禁獄ハ九年以上十一年以下 八年以下ト爲ス	
十七 五年以上十一年以下輕禁獄ハ六年以上 八年以下ト爲ス	
十八 五年以上十一年以下重禁獄ハ九年以上十一年以下 八年以下ト爲ス	
十九 五年以上十一年以下輕禁獄ハ六年以上 八年以下ト爲ス	
二十 五年以上十一年以下重禁獄ハ九年以上十一年以下 八年以下ト爲ス	
二十一 五年以上十一年以下輕禁獄ハ六年以上 八年以下ト爲ス	
二十二 五年以上十一年以下重禁獄ハ九年以上十一年以下 八年以下ト爲ス	
二十三 五年以上十一年以下輕禁獄ハ六年以上 八年以下ト爲ス	
二十四 五年以上十一年以下重禁獄ハ九年以上十一年以下 八年以下ト爲ス	

復スルコトヲ得

第三十四條 下士諸卒ハ此刑法及ヒ尋通刑法海軍
刑法ノ輕罪ナ犯シ監視ニ付シ若クヘ主刑ナ免シ
テ止タ監視ニ付ス可キ時ト雖モ監視ニ付セス

第三十五條 父母刑法第四十九條第五十條第五十五
一條第五十二條第五十三條第五十四條第五十五
條第五十六條第五十七條第五十八條第五十九條

第六十條第六十一條第六十二條第六十三條第六
十四條第六十五條ニ記載スル所ノ刑期計算依出

戰期減免除復讐ノ例ハ此刑法ニ於テ之ヲ適用ス
テテ免除復讐ノ例ハ此刑法ニ於テ之ヲ適用ス

第三十六條 此刑法ニ於テ刑ナ加重減輕ス可キ時
ヘ後ノ數條ニ掲タル所ノ第二照シテ加減ス但加

ヘテ死刑ニ入ルコトヲ得ス

第三十七條 第八十七條第八十八條第八十九條第
百十八條第百十九條第百二十條第百二十一條ニ
掲タル所ノ重罪ノ刑加減ス可キ時ハ左ノ等級ニ
照シテ加減ス

第一死刑

第二無期徒刑

第三有期徒刑

第四重懲役

第五輕懲役

第三十八條 第二編第一章第二章第三章第四章第
七章及ヒ第七十七條第七十八條第七十九條第八
十條第八十一條第八十二條第八十三條第八十六
條ニ掲タル所ノ重罪ノ刑加減ス可キ時ハ左ノ等
級ニ照シテ加減ス

第一死刑

第二無期徒刑

第三有期徒刑

第四重懲役

第五輕懲役

第三十九條 軽懲役ニ該タル者減輕ス可キ時ハ二年
以上五年以下ノ重禁罰ニ處スルナ以テ一等ト爲

ス

輕禁罰ニ該タル者減輕ス可キ時ハ二年以上五年以
下ノ輕禁罰ニ處スルナ以テ一等ト爲

ス

第四十條 重罪ノ刑ナ減輕シテ禁罰ニ處スル時將

校ハ罰官ナ附加

第五 軽禁罰

第三十九條 軽禁役ニ該タル者減輕ス可キ時ハ二年
以上五年以下ノ重禁罰ニ處スルナ以テ一等ト爲

ス

輕禁罰ニ該タル者減輕ス可キ時ハ二年以上五年以
下ノ輕禁罰ニ處スルナ以テ一等ト爲

ス

第四十條 重罪ノ刑ナ減輕シテ禁罰ニ處スル時將

校ハ罰官ナ附加

第四章 教訓俱發

第四十六條 二罪以上俱ニ發スル時若クハ一罪前

ニ該タル者ニ判決ヲ經餘罪後ニ發スル時ハ普通刑

法第百條第一百一條第二條第三條ニ記載スル

所ノ教訓俱發ノ例ヲ適用ス但此刑法罰官ナ附加

セサル禁罪ノ罪ノ罰官ナ附加スル禁罪及ヒ海軍

刑法罰官ナ附加スル禁罪五ヶハ普通刑法ノ罰

ノ罪ト俱ニ發シ罰官ナ附加セサル禁罪ニ處スル

時ト雖モ將校ハ仍ホ罰官ナ附加ジ下士上等卒軍

屬其他ノ官吏ハ別ニ宣告ヲ用ヒス其官職ナ失フ

第五章 數人共犯

第四十七條 軍人二人以上共ニ此刑法ノ罪ナ犯ス

テ七年ニ至リ減シテ十日以下ニ處スル時ハ此

減シ處ス時ト雖モ仍ホ一日以上十日以下ノ禁罪

時亦四分之一減スルナ以テ一等ト爲

ス

禁罪ノ刑ハ加ヘテ重罪ニ三處スル時ハ重禁罰ト雖

モ定役ニ服セス

第四十二條 禁罰ナ加減スルニ因テ其期限ニ零數

チ生シ一日ニ滿サル者ハ之ヲ除キス

ニ減ス

若シ減輕ジテ十日以下ニ禁罪ニ處スル時ハ此

モ定役ニ服セス

第四十三條 軍人ト軍人ニ非サル者ト共犯ニ係

ル者ナ附加ス但十日以下ノ禁罪ニ處スル時ハ此

モ定役ニ服セス

第四十四條 普通刑法第七十五條第六條第七

十七條第七十八條第七十九條第八十條第八十一

條第八十二條第八十五條第八十九條第九十條第九

一條第九十二條第九十四條第九十五條第九

十七条第九十九條第九十九條第九十九條第九十

一條第八十九條第九十九條第九十九條第九十

一條第八十九條第九十九條第九十九條第九十

一條第八十九條第九十九條第九十九條第九十

一條第八十九條第九十九條第九十九條第九十

第四章 教訓俱發

第四十六條 二罪以上俱ニ發スル時若クハ一罪前

ニ該シ已ニ判決ヲ經餘罪後ニ發スル時ハ普通刑

法第百條第一百一條第二條第三條ニ記載スル

所ノ教訓俱發ノ例ヲ適用ス但此刑法罰官ナ附加

セサル禁罪ノ罪ノ罰官ナ附加スル禁罪及ヒ海軍

刑法罰官ナ附加スル禁罪五ヶハ普通刑法ノ罰

ノ罪ト俱ニ發シ罰官ナ附加セサル禁罪ニ處スル

時ト雖モ將校ハ仍ホ罰官ナ附加ジ下士上等卒軍

屬其他ノ官吏ハ別ニ宣告ヲ用ヒス其官職ナ失フ

第五章 數人共犯

第四十七條 軍人二人以上共ニ此刑法ノ罪ナ犯ス

テ七年ニ至リ減シテ十日以下ニ處スル時ハ此

減シ處ス時ト雖モ仍ホ一日以上十日以下ノ禁罪

時亦四分之一減スルナ以テ一等ト爲

ス

禁罪ノ刑ハ加ヘテ重罪ニ三處スル時ハ重禁罰ト雖

モ定役ニ服セス

第四十八條 軍人ト軍人ニ非サル者ト共犯ニ係

ル者ハ四月以上四年以下ノ禁罪ニ處スル時ハ此

モ教訓俱發ノ例ヲ適用ス

第二編 重罪輕罪

第一章 反亂

第六章 未遂犯罪

第四十九條 此刑法ノ罪ナ未遂シテ未ダ遂ケ

ル時軍人ハ此刑法ナ依リ處斷スト雖モ軍人ニ非サ

ル者ハ普通刑法ニ照シテ其罪ナ論ス但第十二條

第十三條ニ依リ此刑法ヲ以テ處断ス可キ者ハ此

限ニ在ラス

第五章 軍人賞勵

第五十條 軍人賞ナ給ヒ搜ニ兵器ヲ執リ反亂ナ爲

ス者首領教唆者及ヒ群衆ノ指揮ナ爲シ若クハ幅

度前ニ在テ死刑ニ處ス

第六章 未遂犯罪

第六章 未遂犯罪

第五章 軍人賞勵

第六章 未遂犯罪

其體ノ犯人ハ第百十七條第百十八條ニ照シテ處

第一百二十條 軍人敵ニ奔ル者ハ死刑ニ處ス

第九章 許可

第一百二十一條 軍人糧食ノ支給ヲ掌リ健康ヲ害ス可キ食料飲料ヲ配付スル者ハ輕禁罰ニ處シ因テ死ニ致ス者ハ有期徒刑ニ處ス

第一百二十二條 軍人斥候偵察ノ命ヲ受ケ難爲ノ報告ナ爲シ若クハ傳令使命令ヲ許す傳令者ハ五年以上五年以下ノ輕禁罰ニ處シ將校ハ副官ヲ附加ス

第一百二十三條 陸軍醫官其職務ヲ以テ疾病傷痍及ヒ身體殘弱ノ爲認ナ爲ス者ハ二月以上二年以下ノ輕禁罰ニ處シ將校ハ副官ヲ附加ス

第一百二十四條 軍人疾病ヲ許爲シ身體ヲ毀傷シ兵役ヲ免ル、コトヲ聽ル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁罰ニ處ス

第一百二十五條 軍人敵ヲ結・軍事ニ關スル規則命令ノ施行ヲ妨ケ若クハ之ヲ妨ケント謀リ其他服從法ニ違フ者首獄ヘ二年以上五年以下ノ輕禁罰ニ處シ其他ノ犯人ハ二月以上一年以下ノ輕禁罰ニ處シ將校ハ副官ヲ附加ス

第一百二十六條 軍人前條ニ記載スル所爲チ首帽教曉シ未タ戴ナ爲スニ至ラサルトキ其首帽教曉者ノ刑ハ前條首懲ノ刑ニ一等若クハ二等ヲ減シ將校ハ副官ヲ附加ス

第十章 結語

第一百二十七條 軍人二人以上共ニ前條ノ罪ヲ犯ス者前ニ在テハ皆死刑ニ處ス

第五十九條 軍人敵ヲ利スル爲メ兵器彈薬其他軍需品ノ供乏・不支等ハ死刑ニ處ス

第六十條 軍人敵ヲ利スル爲メ叫呼喧嘩シ若クハ造言詛踏ナ爲ス者ハ死刑ニ處ス

第六十一條 軍人敵ノ間諜ナ識辨財物貪求シ若クハ敵ヲ利スル爲メ俘虜奸人ナ逃走セシメ及ヒ劫奪スル者ハ死刑ニ處ス

第六十二條 軍人前條終ニ掛タル所ノ罪ヲ犯サントシテ未タ送ケタル者及ヒ其餘猶ナ爲ス者ハ各本條ニ照シ一等ヲ減ス

第六十三條 軍人前數條ニ掛タル所ノ罪ヲ犯サントシテ其識辨行クハ陰謀ヲ爲スト監モボタ其事ナ行ハサル前ニ於テ自首スル者ハ本刑ヲ免シ六年以上三年以下ノ監禁ニ付シ將校ハ副官ヲ附加ス

第六十四條 軍人情ナ知テ前數條ニ掛タル所ノ犯人集會ノ爲メ聚屋ナ貯ス者ハ二年以上五年以下ノ輕禁罰ニ處ス

第六十五條 軍人此章ノ下ニ記シ經済ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監禁ニ付シ將校ハ副官ヲ附加ス

第六十六條 軍人命令ヲ下ス可キ讀アル者ノ命令ニ抗シ若クハ服從セサル者敵前ニ在テハ死刑ニ處ス

第六十七條 軍人二人以上共ニ前條ノ罪ヲ犯ス者前ニ在テハ皆死刑ニ處ス

第六十八條 軍中若クハ西戰合圍ノ地ニ在テハ首冠ハ重禁罰ニ處ス

第六十九條 軍人敵ヲ利スル爲メ土地道路ノ要害

第五十二條 軍人前二條ノ罪ヲ犯スニ因リ故ラニ附和シテ其事ニ履行スル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁罰ニ處ス

第五十三條 軍人反亂ヲ爲スコトヲ謀リ兵器彈薬等其他軍需ノ物品ヲ劫掠スル者ハ罰祿ノ刑ニ處シ

第五十四条 軍人敵ヲ利スル爲メ土地道路ノ要害

第五十五条 軍人敵ヲ利スル爲メ部下ノ兵隊若クハ

第五十六条 軍人敵ヲ利スル爲メ軍事ニ關スル家

第五十七条 軍人敵ヲ利スル爲メ軍事ニ關スル家

第五十八条 軍人敵ヲ利スル爲メ軍事ニ關スル家

第五十九條 軍人敵ヲ利スル爲メ軍事ニ關スル家

第六十条 軍人敵ヲ利スル爲メ軍事ニ關スル家

第六十一条 軍人敵ヲ利スル爲メ軍事ニ關スル家

第六十二条 軍人敵ヲ利スル爲メ軍事ニ關スル家

第六十三条 軍人敵ヲ利スル爲メ軍事ニ關スル家

第六十四条 軍人敵ヲ利スル爲メ軍事ニ關スル家

內閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

卷之三

陸軍刑法改正案本期議會ニ提出相成度法律案及理由ヲ具シ閣議ヲ請フ

明治四十一年一月二十五日

國朝
陸善
卷三
一六號

国立公文書館 National Archives of Japan

陸軍刑法典
案

陸軍刑法

第一編

總則

第二編

罪

第一章 犯亂

第二章 欺騙

第三章 殴打

第四章 奸淫

第五章 虐待

第六章 強暴

第七章 暴行

第八章 脅迫

第九章 侮辱

第十章 逃亡

第十一章 軍用物損壞

第十二章 稚奪

第十三章 罪

第十四章 罪

第十五章 罪

第十六章 罪

第十七章 罪

第十八章 罪

第十九章 罪

第二十章 罪

第二十一章 罪

第二十二章 罪

第二十三章 罪

第二十四章 罪

第二十五章 罪

第二十六章 罪

第二十七章 罪

第二十八章 罪

第二十九章 罪

第三十章 罪

第三十一章 罪

第三十二章 罪

第三十三章 罪

第三十四章 罪

第三十五章 罪

第三十六章 罪

第三十七章 罪

第三十八章 罪

第三十九章 罪

第四十章 罪

第四十一章 罪

第四十二章 罪

第四十三章 罪

第四十四章 罪

第四十五章 罪

第四十六章 罪

第四十七章 罪

第四十八章 罪

第四十九章 罪

第五十章 罪

第五十一章 罪

第五十二章 罪

第五十三章 罪

第五十四章 罪

第五十五章 罪

第五十六章 罪

第五十七章 罪

第五十八章 罪

第五十九章 罪

第六十章 罪

第六十一章 罪

第六十二章 罪

第六十三章 罪

第六十四章 罪

第六十五章 罪

第六十六章 罪

第六十七章 罪

第六十八章 罪

第六十九章 罪

第七十章 罪

第七十一章 罪

第七十二章 罪

第七十三章 罪

第七十四章 罪

第七十五章 罪

第七十六章 罪

第七十七章 罪

第七十八章 罪

第七十九章 罪

第八十章 罪

第八十一章 罪

第八十二章 罪

第八十三章 罪

第八十四章 罪

第八十五章 罪

第八十六章 罪

第八十七章 罪

第八十八章 罪

第八十九章 罪

第九十章 罪

第九十一章 罪

第九十二章 罪

第九十三章 罪

第九十四章 罪

第九十五章 罪

第九十六章 罪

第九十七章 罪

第九十八章 罪

第九十九章 罪

第一百章 罪

第一百一章 罪

第一百二章 罪

第一百三章 罪

第一百四章 罪

第一百五章 罪

第一百六章 罪

第一百七章 罪

第一百八章 罪

第一百九章 罪

第一百十章 罪

第一百十一章 罪

第一百十二章 罪

第一百十三章 罪

第一百十四章 罪

第一百十五章 罪

第一百十六章 罪

第一百十七章 罪

第一百十八章 罪

第一百十九章 罪

第一百二十章 罪

第一百二十一章 罪

第一百二十二章 罪

第一百二十三章 罪

第一百二十四章 罪

第一百二十五章 罪

第一百二十六章 罪

第一百二十七章 罪

第一百二十八章 罪

第一百二十九章 罪

第一百三十章 罪

第一百三十一章 罪

第一百三十二章 罪

第一百三十三章 罪

第一百三十四章 罪

第一百三十五章 罪

第一百三十六章 罪

第一百三十七章 罪

第一百三十八章 罪

第一百三十九章 罪

第一百四十章 罪

第一百四十一章 罪

第一百四十二章 罪

第一百四十三章 罪

第一百四十四章 罪

第一百四十五章 罪

第一百四十六章 罪

第一百四十七章 罪

第一百四十八章 罪

第一百四十九章 罪

第一百五十章 罪

第一百五十一章 罪

第一百五十二章 罪

第一百五十三章 罪

第一百五十四章 罪

第一百五十五章 罪

第一百五十六章 罪

第一百五十七章 罪

第一百五十八章 罪

第一百五十九章 罪

第一百六十章 罪

第一百七十章 罪

第一百八十章 罪

第一百九十章 罪

第一百二十章 罪

第一百三十章 罪

第一百四十章 罪

第一百五十章 罪

第一百六十章 罪

第一百七十章 罪

第一百八十章 罪

第一百九十章 罪

第一百二十章 罪

第一百三十章 罪

第一百四十章 罪

第一百五十章 罪

第一百六十章 罪

第一百七十章 罪

第一百八十章 罪

第一百九十章 罪

第一百二十章 罪

第一百三十章 罪

第一百四十章 罪

第一百五十章 罪

第一百六十章 罪

第一百七十章 罪

第一百八十章 罪

第一百九十章 罪

第一百二十章 罪

第一百三十章 罪

第一百四十章 罪

第一百五十章 罪

第一百六十章 罪

第一百七十章 罪

第一百八十章 罪

第一百九十章 罪

第一百二十章 罪

第一百三十章 罪

第一百四十章 罪

第一百五十章 罪

第一百六十章 罪

第一百七十章 罪

第一百八十章 罪

第一百九十章 罪

第一百二十章 罪

第一百三十章 罪

第一百四十章 罪

第一百五十章 罪

第一百六十章 罪

第一百七十章 罪

第一百八十章 罪

</

第十章 僱傭ニ關スル罪

第十一章 違令，罪

第十章 僱傭ニ關スル罪

第十一章 違令，罪

陸軍刑法

第一編 總則

第一條 本法ハ陸軍軍人ニシテ罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

第二條 本法ハ陸軍軍人ニ非スト雖左ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

一 第六十七條乃至第七十條，罪及此等，罪）未遂罪

二 第七十七條，罪

三 第八十二條乃至第八十八條，罪

四 第八十九條乃至第九十二條，罪

五 第九十四條乃至第九十六條，罪及第九十四条，第

九十九條、未遂罪

六 第九十九條第一項、第九十九條、第一百條第三項及
第一百二條、罪

第三條 本法ハ前ニ條ニ記載シタル者帝國外ニ於テ
罪ヲ犯シタルトキト雖之ヲ適用ス

第四條 帝國軍、占領地ニ於テ陸軍軍人刑法又ハ
他、法令、罪ヲ犯シタルトキハ之ヲ帝國内ニ於テ犯シタ
ルモノト看做ス

陸軍軍人ニ非エト全前項ハ國臣民、從軍外國人及俘
虜、犯シタルトキ亦同シ

第五條 帝國外ニ在ル部隊ニ屬シ若ヘ從フ者又ハ
之ニ伴虜タル者其ノ部隊、所在地ニ於テ刑法又
ハ他、法令、罪ヲ犯シタルトキ亦前條ニ同シ

第六條 陸軍ト共同作戦ニ從フ海軍軍人ニ對スル
行爲ハ其ノ職務官等、等級又ハ階級ニ相當ス
ル陸軍軍人ニ對スル行爲ト看做ス

第七條 陸軍ト共同作戦ニ從フ外國、陸海軍ニ
屬スル者ニ對スル行爲ハ其ノ職務官等、等級又
ハ階級ニ相當スル陸軍軍人ニ對スル行爲ト看做ス
第八條 陸軍軍人ト稱スルハ左ニ記載シタル者ヲ謂

フ

一 陸軍ノ現役ニ在ル者但シ未々入營セキル者及
歸休兵ヲ除ク

二 古集中、在郷軍人

三 古集中、在郷軍人、勤務ニ
服スル在郷軍人

九十九條、未遂罪

六 第九十九條第一項、第九十九條、第一百條第三項及

第一百二條、罪

第三條 本法ハ前ニ條ニ記載シタル者帝國外ニ於テ
罪ヲ犯シタルトキト雖之ヲ適用ス

第四條 帝國軍、占領地ニ於テ陸軍軍人刑法又ハ
他ノ法令、罪ヲ犯シタルトキハ之ヲ帝國内ニ於テ犯シタ
ルモノト看做ス

陸軍軍人ニ非エト雖帝國臣民、從軍外國人及俘
虜、犯シタルト、^{同シ}

第五條 帝國外ニ在ル部隊ニ屬シ若ハ從フ者又ハ
之ニ伴虜タル者其ノ部隊、所在地ニ於テ刑法又
ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シタルトキ亦前條ニ同シ

第六條 陸軍ト共同作戦ニ從フ海軍軍人ニ對ニル
行爲ハ其ノ職務、官等、等級又ハ階級ニ相當ス
ル陸軍軍人ニ對ニル行爲ト看做ス

第七條 陸軍ト共同作戦ニ從フ外國、陸海軍ニ
屬スル者ニ對ニル行爲ハ其ノ職務、官等、等級又
ハ階級ニ相當スル陸軍軍人ニ對ニル行爲ト看做ス
第八條 陸軍軍人ト稱スルハ左ニ記載シタル者ヲ謂

フ

一 陸軍ノ現役ニ在ル者但シ未々入營セキル者及
歸休兵ヲ除ク

二 古集中ニ在郷軍人

三 古集ニ依ラス部隊ニ在リテ陸軍軍人、勤務ニ
服スル在郷軍人

四 前ニ號ニ記載シタル者、外陸軍、制服著用
中又ハ現ニ服役上、義務履行中、在御軍

人

五 志願ニ依リ國民軍隊ニ編入セラレ服務中、
者

第九條 左ニ記載シタル者ハ陸軍軍人ニ準ス

一 陸軍附屬、學生、生徒

二 陸軍軍屬

三 陸軍、勤務ニ服スル海軍軍人

前項第一號ニ記載シタル者ノ中特ニ除外スヘキ者
アルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 陸軍將校相當官、陸軍准士官、海軍將
校、同相當官及海軍准士官ハ陸軍將校ニ準ス

陸軍士官、候補者ニシテ士官、勤務ニ服スル者及海
軍候補生亦同シ

第十一條 陸軍士官ノ候補者ニシテ下士、階級ニ在
リ士官、勤務ニ服セサル者ハ陸軍下士ニ準ス

第十二條 陸軍、兵役ニ在リテ官等、等級ヲ有セサ
ル者ハ兵卒ニ準ス陸軍士官ノ候補者ニシテ兵卒、
階級ニ在ル者亦同シ

第十三條 在郷軍人ト稱スルハ陸軍、現役以外、役
ニ在ル者、陸軍ノ現役ニ在リテ未々入營セサル者、陸
軍、歸休兵及退役陸軍將校、同相當官、准士官
ヲ謂フ

第十四條 陸軍軍屬ト稱スルハ陸軍文官、同待遇
者及宣誓シテ陸軍、勤務ニ服スル者ヲ謂フ但シ

豫備又ハ退職、文官ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 海軍軍人ト稱スルハ海軍刑法ニ於テ海

軍軍人ト為ス者ヲ謂フ

第十六條 上官ト稱スルハ命令關係アル陸軍軍人

間ニ於テ命令權ヲ有スル者ヲ謂フ

命令關係ナキ者ノ間ニ於テハ官等、等級又ハ階級
上ナル者ハニフ上官ニ準ス但シ兵卒ハ下士勤務
上等兵ヲ除リ外總ヲ同等トス

第十七條 司令官ト稱スルハ軍隊、司令ニ任スル陸

軍軍人ヲ謂フ

第十八條 哨兵ト稱スルハ儀仗又ハ警戒、爲守地

ニ在ル陸軍軍人ヲ謂フ

第十九條 部隊ト稱スルハ陸軍、軍隊、官衛、學校

特務機關及戰時ニ於ケル陸軍ノ特設機關ヲ謂フ

第二十條 戰時ト稱スルハ宣戰、公布アリタル時又ハ
現ニ開戦シタル時ヨリ平和克復、時迄ヲ謂フ

第二十一條 軍中ト稱スルハ左ニ託載シタル部隊ニ在
ル場合ヲ謂フ

一 戰時、體勢ヲ執リタル部隊但シ留守部隊、衛
戍勤務、服スル後備又ハ國民諸隊、戰地以外
、地ニ在ル輸送又ハ補給諸機關ニシテ對敵狀
態ニ在ラカルモノヲ除ク

二 戰時ノ體勢ヲ執ラサルモ對敵狀態ニ在ル部隊
三 内亂、事變又ハ一地方、騷擾ニ際シ其、鎮定

ニ從事スル部隊

第二十二條 陸軍ニ於テ死刑ヲ執行スルトキハ陸軍法衙

ヲ管轄スル長官ノ定ムル場所ニ於テ錄殺ス

第二十三條 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ニ依リ處

斷シタル場合ニ亦之ヲ適用ス

第二十四條 多衆共同ノ暴行ヲ鎮壓スル爲又ハ敵前ニ在ル部隊ノ急迫ニ臨ニ軍紀ヲ保持シ爾爲已ムコトヲ得サルニ出テタヘ行爲ハ之ヲ罰セズ

必要ノ程度ヲ超エタル行爲ハ情狀ニ因リ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルユトヲ得

第二十五條 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ノ罪ト爲ルヘキ行爲ニ亦之ヲ適用ス

第二十六條 本法ニ依リ死刑ニ處セラレタル者其ノ執行ノ免除アリタル日ヨリ五年内ニ更ニ本法、刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處スヘキトキハ前ノ罪

ヲ懲役ニ該ル罪ト同質ノ罪ト認ムトキニミテ再犯トス

第二十七條 本法及海軍刑法

陸軍軍人ニ及バ
陸軍軍人ニ及バ

アリ且其ノ刑ニ輕重ナキトキハ海軍軍人ニ對シテハ

海軍刑法ヲ適用ス

第二編 罪

第一章 叛亂ノ罪

第二十八條 當黨ヲ結ヒ兵器ヲ執リ反亂ヲ爲シタル者ハ左、
逐別ニ從テ處斷ス

一首魁ハ死刑ニ處ス

二 謂議ニ參與シ又ハ群衆、指揮ヲ爲シタル者ハ死刑、無期
若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他諸般ノ職務ニ
従事シタル者八年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

ラ管轄スル長官ノ定ムル場所ニ於テ銀幕ス

第二十三條 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ニ依リ處

断タル場合ニ亦之ヲ適用ス

第二十四條 多衆共同ノ暴行ヲ鎮壓スル爲又ハ敵前ニ在ル部隊ノ急迫ニ臨ニ軍紀ヲ保持スル爲已ムコトヲ得サルニ出テタル行為ハ之ヲ罰セズ

必要ノ程度ヲ超エタル行為ハ情狀ニ因リ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルユトヲ得

第二十五條 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ノ罪ト爲ルヘキ行為ニ亦之ヲ適用ス

第二十六條 本法ニ依リ死刑ニ處セラレタル者其ノ執行ノ免除アリタル日ヨリ五年内ニ更ニ本法、刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處スヘキトキハ前ノ罪

ヲ懲役ニ該ル罪ト同質ノ罪ト認ムハトキニ限り之ヲ再犯トス

第二十七條 本法及海軍刑法ニ於テ俱ニ罰スヘキ正條アリ且其ノ刑ニ輕重ナキ。海軍軍人ニ對シテハ海軍刑法ヲ適用ス

第二編

第一章 叛亂ノ罪

第二十八條 葦薦ヲ結ヒ兵器ヲ執リ反亂ヲ爲シタル者ハ左ノ通りニ從テ處斷ス

一首魁ハ死刑ニ處ス

二 謀議ニ參與シ又ハ群衆、指揮ヲ爲シタル者ハ死刑無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其他諸般ノ職務ニ從事シタル者八年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 附知隨行シタル者ハ七年以下、懲役又ハ禁錮ニ處ス
第二十九條 反亂ヲ爲ス目的ヲ以テ黨衆ヲ結ヒ兵器、彈薬其
ノ他軍用ニ供スル物ヲ劫掠シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

第三十條 左ニ記載シタル行為ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス
一 軍隊又ハ要塞、陣營、艦船、兵器、彈薬其、他軍用ニ
供スル場所若ハ物ヲ敵國ニ交付シタルトキ

二 敵國、爲ニ間諜ヲ爲シ又ハ敵國、間諜ヲ幫助シタルトキ
三 軍事上、機密ヲ敵國ニ漏泄シタルトキ

四 敵國、爲ニ嚮道ヲ爲シ又ハ地理ヲ指示シタルトキ
五 敵國ニ降ラシタル爲司令官ヲ強要シタルトキ

六 敵國、爲ニ俘虜ヲ奪取シスハ之ヲ逃走セシメタリトキ

第三十一條 敵國ヲ利カル爲左ニ記載シタル行為ヲ爲シタル者ハ死刑ニ

處ス

一 要塞、陣營、艦船、兵器、彈薬其、他軍用ニ供スル場所又ハ物
ヲ損壊シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシタルトキ

二 水陸ノ通路、橋梁ヲ損壊、又ハ壅塞シ又ハ其、他、方法
ヲ以テ軍隊、艦船、牲畜、妨害シ生セシタルトキ

三 司令官軍隊ヲ率ヰテ守地若ハ既置ノ地ニ就カヌ又ハ其
ノ地ヲ離レタルトキ

四 隊兵ヲ解散シ又ハ其、遺走混亂ヲ誇起シスハ其、
連絡集合ヲ妨害シタルトキ

五 兵器、彈薬、糧食、被服其、他軍用ニ供スル物ヲ缺
全セシムタルトキ

六 命令、通報若ハ報告ヲ詐リ傳ヘ又ハ虛偽ノ命令、通報

若ハ報告ヲ爲シタルトキ

七 造言飛語シ又ハ敵前ニ於テ叫呼喧噪シタルトキ

第三十三條 前二條ニ記載シタル以外ノ方法ヲ以テ敵國・軍事上
ノ利益ヲ與ヘ又ハ帝國・軍事上ノ利益ヲ害シタル者ハ死刑

又ハ無期若ハ七年以上・懲役ニ處ス

第三十三條 反亂者又ハ内亂者ヲ利益爲前三條ニ記載シ
タル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑・無期若ハ三年以上・懲

役又ハ禁錮ニ處ス

第三十四條 前六條・未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三十五條 第二十八條乃至第三十三條・罪・豫備又ハ陰謀ヲ
爲シタル者ハ一年以上・有期・懲役又ハ禁錮ニ處ス

第三十六條 第二十八條又ハ第三十九條・罪・豫備又ハ陰謀ヲ
爲シタル者未々事ヲ行ハリ前自首シタルトキハ其ノ刑ヲ
免除ス

第三十七條 本章ノ規定ハ戰時同盟國ニ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

第二章 檢權ノ罪

第三十八條 司令官外國ニ對シ故ナク戰鬪ヲ開始
シタルトキハ死刑ニ處ス

第三十九條 司令官休戰又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタ
ル後故ナク戰鬪ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第四十條 司令官權外ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル
理由ナクシテ擅ニ軍隊ヲ進退シタルトキハ死刑又

ハ無期若ハ七年以上・禁錮ニ處ス

第四十一條 命令ヲ待タス故ナク戰鬪ヲ爲シタル
者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上・禁錮ニ處ス

第四十二條 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三章 辱職ノ罪

第四十三條 司令官其ノ盡スヘキ所ヲ盡サヌシテ

敵ニ降リ又ハ要塞ヲ敵ニ委シタルトキハ死刑ニ處ス
第四十四條 司令官野戰ノ時ニ在リテ隊兵ヲ率ヰ

敵ニ降リタルトキハ其ノ盡スヘキ所ヲ盡シタル場合
ト雖六月以下、禁錮ニ處ス

第四十五條 司令官敵前ニ於テ其ノ盡スヘキ所ヲ
盡サスレテ隊兵ヲ率ヰ逃避シタルトキハ死刑ニ處
ス

第四十六條 司令官軍隊ヲ率ヰ故ナク守地若、配
置ノ地ニ就カス又ハ其ノ地ヲ離レタルトキハ左ノ區
別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ五年以上、有
期禁錮ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ三年以下、禁錮ニ處ス

第四十七條 司令官出兵ヲ要求スル權アル官憲ヨ
リ其ノ要求ヲ受ケ故ナク之ニ應セサルトキハ二年
以下ノ禁錮ニ處ス

第四十八條 將校部隊若ハ一部ノ兵員ヲ率ヰ又ハ
之ニ屬シ輸送船舶、ニ在リテ敵、艦船ニ遭遇シ
タル際其ノ盡スヘキ所ヲ盡サスレテ其ノ船舶ヲ
退去シタルトキハ死刑、無期若ハ十年以上ノ懲役又
ハ禁錮ニ處ス

第四十九條 部下多衆共同シテ罪ヲ犯スニ當リ鎮
定ノ方法ヲ盡ササル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス
第五十條 哨兵故ナク守地ヲ離レタルトキハ左ノ區別
ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ死刑三處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁銅ニ處

七

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス
五十一條 哨兵臥眠又ハ酩酊シテ其ノ職務ヲ

リタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス
ニ其ノ也ノ賜今ナルトキハ一年以下

五十二條 衛兵、控兵、巡察、斥候其ノ他警戒
又ハ傳令ノ勤務ニ服スル者故ナク勤務ノ場所
若ハ隊伍ヲ離レタルトキ又ハ到ルヘキ場所ニ到ラ
サルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

銅二處入

二
處
八

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ二年以下ノ禁錮

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス
第五十三條 故ナク規則ニ依ラスレテ哨兵ヲ交代
セシメ其ノ他哨令ニ違反シタル者ハ左ノ區別ニ
從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處

二軍中又“戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮三處ニ
三其、他、場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮三處ニ

第五十四條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ斥候、巡

ルトキハ七年一以降ノ懲役ニ處ス 服スル者虛偽ノ報告ヲ爲シタ
翠牛屋中又ニ戒嚴地帯ニ存リテ 軍事ニ關スル命令、通

一敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十一條 哨兵睡眠又ハ酩酊シテ其ノ職務ヲ怠リタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

二其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十二條 衛兵、控兵、巡察、斥候其ノ他警戒又ハ傳令ノ勤務ニ服スル者故ナク勤務ノ場所若ハ隊伍ヲ離レタルトキ又ハ到ルヘキ場所ニ到ラサルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁

錮ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十三條 故ナク規則ニ依ラスシテ哨兵ヲ交代セシメ其ノ他哨令ニ違反シタル者ハ左ノ區別ニ

從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十四條 戰時軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ斥候、巡

ルトキハ七年以下ノ懲役ニ處ス 服スル者虛偽ノ報告ヲ爲シタルトキハ禁錮ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

ス

一
二

三

一敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十一條 哨兵睡眠又ハ酩酊シテ其ノ職務ヲ怠リタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

二其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十二條 衛兵、控兵、巡察、斥候其ノ他警戒又ハ傳令ノ勤務ニ服スル者故ナク勤務ノ場所若ハ隊伍ヲ離レタルトキ又ハ到ルヘキ場所ニ到ラサルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁

銅ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

銅ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十三條 故ナク規則ニ依ラスシテ哨兵ヲ交代セシメ其ノ他哨令ニ違反シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十四條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ斥候、巡察又ハ偵察ノ勤務ニ服スル者虚偽ノ報告ヲ爲シタル時軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ軍事ニ關スル命令、通

報又ハ報告、傳達ヲ掌ル者其ノ命令、通報告告ヲ詐リ傳ヘ又ハ故ナク之ヲ傳達セサルトキ亦同レ
第五十五條 軍事機密ノ圖書、物件ヲ保管スル者
危急ノ時ニ當リ之ヲ敵ニ委セサル方法ヲ盡ササル
トキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十六條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ兵器、
彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ノ運搬又ハ
支給ヲ掌ル者故ナク之ヲ缺乏セレメタルトキハ一年
以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第五十七條 健康ヲ害スヘキ飲食物ヲ配給シタル者
ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シ
タル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第五十八條 従軍ヲ免レヌハ危險ナル勤務ヲ避ケル

目的ヲ以テ疾病ヲ作爲シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐偽
ノ行爲ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス
一敵前ナルトキハ五年以上ノ有期懲役ニ處ス
ニ其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第五十九條 第四十三條、第四十五條、第四十一條、第
四十八條、第五十條、第五十二條、第五十四條及第五十
大條至第五十八條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四章 抗命ノ罪

第六十條上官ノ命令反抗レ又ハ之ヲ服從セサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス
一敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁錮ニ處ス
二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ一年以上七年以下ノ禁錮ニ處ス
三其他ノ場合ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第六十一條虐與シテ前條ノ罪ヲ犯レタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

報又ハ報告ノ傳達ヲ掌ル者其ノ命令、通報若ハ報告ヲ訴リ傳ヘ又ハ故ナク之ヲ傳達セサルト同レ
第五十五條 軍事機密ノ圖書、物件ヲ保管スル者危急ノ時ニ當リ之ヲ敵ニ委セサル方法ヲ盡ササルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

トモハ五年以下ノ禁錮金ノ
第五十六條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ兵器、
彈藥、糧食、被服其、他軍用ニ供スル物ノ運搬又ハ
支給ヲ掌ル者故ナク之ヲ缺乏セシメタルトキハ一年
以上十年以下ノ懲役ニ處ス

以上十七條
第五十七條 健康ヲ害スヘキ飲食物ヲ配給シタル者
ハ一年以上十年以下、懲役ニ處ス。因テ人ヲ死ニ致シ
タル者、無期又ハ五年以上、懲役ニ處ス。

第五十八條 従軍ヲ免レ又ハ危険ナル勤務ヲ避クル

ハ一年以上十年以下、候行
タル者ハ無期又ハ五年以上、懲役ニ處ス
至宣色ノハ、乞食ナレ勤務ヲ辟クル

第四章 抗命入罪

第六十條 上官ノ命令ニ反抗シ又ハ之ニ服從セサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス
一敵前ナルトキリ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁錮ニ處ス
二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ一年以上七年以下ノ禁錮ニ處ス
三其他ノ場合ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

一敵前ナルトキハ首魁、死刑ニ處レ其他ノ者ハ死刑又ハ

無期禁錮ニ處ス

二軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ首魁、無期又ハ五年以上ノ

禁錮ニ處レ其他ノ者ハ一年以上十年以下ノ禁錮ニ處ス

三其他ノ場合ナルトキハ首魁ハ三年以上十年以下ノ禁錮ニ

處レ其他ノ者ハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

第六十二條

暴行ヲ爲スニ當リ上官ノ制止ニ從ハサル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第五章 暴行脅迫ノ罪

第六十三條 上官ニ對レ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二其他ノ場合ナルトキハ首魁ハ五年以上ノ有期、懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十四條 畫與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處

断ス
一敵前ナルトキハ無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處レ其他ノ者ハ三年以上ノ有期、懲役又ハ禁錮ニ處ス

二其他ノ場合ナルトキハ首魁ハ五年以上ノ有期、懲役又ハ禁錮ニ處レ其他ノ者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十五條 上官ニ對シ兵器又ハ光器ヲ用ヰテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ死刑、無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二其他ノ場合ナルトキハ無期若ハ二年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十六條 畵與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ首魁ハ死刑ニ處レ其他ノ者ハ死刑又ハ無

期、懲役若、禁錮=處ス

ニ其、他、場合ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期、懲役若、禁錮=處シ
其、他、者ハ死刑、無期若ハ五年以上、懲役又、禁錮=處ス

第六十七條 哨兵ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區
別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ七年以下ノ懲役又、禁錮=處ス

ニ其、他、場合ナルトキハ四年以下ノ懲役又、禁錮=處ス

第六十八條 黨與レテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從
テ處斷ス

一敵前ナルトキハ首魁ハ三年以上ノ有期、懲役又、禁錮=處シ
其、他、者ハ十年以下ノ懲役又、禁錮=處ス

ニ其、他、場合ナルトキハ首魁ハ一年以上十年以下ノ懲役又、禁
錮=處シ其、他、者ハ五年以下ノ懲役又、禁錮=處ス

第六十九條 哨兵ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用キテ暴行又ハ脅
迫ヲ為シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ無期若ハ五年以上、懲役又、禁錮
=處ス

二其、他、場合ナルトキハ一年以上ノ有期、懲役又ハ
禁錮=處ス

第七十條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ
從テ處斷ス

一敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁
錮=處シ其、他、者ハ無期若ハ七年以上ノ懲役又
ハ禁錮=處ス

二其、他、場合ナルトキハ首魁ハ死刑、無期若ハ七年
以上ノ懲役又ハ禁錮=處シ其、他、者ハ無期若ハ二年

以上、懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十一条 上官又ハ哨兵以外、陸軍軍人其ノ職務ヲ執行スルニ
當リ之ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ為シタル者ハ四年以下、懲役
又ハ禁錮ニ處ス

黨與シテ前項、罪ヲ犯シタルトキハ首魁ハ六月以上七年以
下、懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他、者ハ五年以下、懲役又ハ禁
錮ニ處ス

第七十二条 上官又ハ哨兵以外、陸軍軍人其ノ職務ヲ執行スルニ
當リ之ニ對シ兵器又ハ兇器、用ヰテ暴行又ハ脅迫ヲ為シ
タル者ハ一年以上十年以下、懲役又ハ禁錮ニ處ス

黨與シテ前項、罪ヲ犯シタルトキハ首魁ハ無期若ハ三
年以上、懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他、者ハ一年以上、有期、
懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十三条 多衆聚合シテ暴行又ハ脅迫ヲ為シタル者ハ左ノ
區別ニ從テ處断ス

一 首魁ハ三年以上、有期、懲役又ハ禁錮ニ處ス
二 他人ヲ指揮シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ一年以上
十年以下、懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 附和隨行シタル者ハ二年以下、懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十四条 職權ヲ濫用シテ陵虐、行為ヲ為シタル者ハ三年以下
、懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十五条 第六十三條乃至第七十三條、未遂罪ハ之ヲ罰ス

第七十六条 上官、其ノ面前ニ於テ侮辱シタル者ハ三年以下、懲役
又ハ禁錮ニ處ス

文書、圖畫、若ハ偶像、公示シ又ハ演説ヲ為シ其ノ他公然ノ方法

、以テ上官ヲ侮辱シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十七條 哨兵ヲ其ノ面前ニ於テ侮辱シタル者ハ二年以下ノ懲役

又ハ禁錮ニ處ス

第七章 逃亡ノ罪

第七十八條 故ナク職役ヲ離レ又ハ職役ニ就ケル者ハ左ノ區別ニ從テ處断ス

一 敵前ナルトキハ死刑、無期若ハ五年以上、懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ三日ヲ過キタルトキハ五年以下、

懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 其ノ他、場合ニ於テ六日ヲ過キタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮

ニ處ス

第七十九條 畫輿シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處断ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期、懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他、者ハ六月以上七年以下、懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ三日ヲ過キタルトキハ首魁ハ五年以上、有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他、者ハ六月以上七年以下、懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 其ノ他、場合ニ於テ六日ヲ過キタルトキハ首魁ハ一年以上七年以下、懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他、者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

ノ
久

第八十條 敵ニ奔リタル者ハ死刑又ハ無期、懲役若ハ禁錮ニ處ス

第八十一條 第七十八條第一號、第七十九條第一號及前條、未遂罪ハ之

ヲ罰ス

第八章 軍用物損壊ノ罪

第八十二條 陸軍、工場、船舶、戰闘ノ用ニ供スル建造物、汽車、電車若ハ

橋梁又ハ陸軍、軍用ニ供スル物ヲ貯藏スル倉庫、焼燬シタル者

死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第八十三條 露積シタル兵器、弾薬、糧食、被服其、他陸軍、軍用ニ供スル物、焼燬シタル者ハ左ノ區別、從テ處断ス

一 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

二 其、他ノ場合ナルトキハ無期又ハ二年以上、懲役ニ處ス

第八十四條 火薬、汽罐其、他激發スヘキ物、破裂セシナテ前二條ニ記載シタル物ヲ損壊シタル者ハ燒燬ノ例、同シ

第八十五條 第八十二條ニ記載シタル物又ハ陸軍戰鬪、用ニ供スル鐵道、電線若ハ水陸、通路ヲ損壊シ又ハ使用スルコト能ハガルニ至ラシナル者ハ無期又ハ二年以上、懲役ニ處ス

第八十六條 兵器、彈藥、糧食、被服、馬匹其、他陸軍、軍用ニ供スル物ヲ毀棄又ハ傷害シタル者ハ十年以下、懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十七條 第八十二條乃至第八十五條、未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八十八條 本章ノ規定ハ陸軍ト共同作戦ニ從テ外國陸海軍、軍用物ニ對スル行為ニ亦之ヲ適用ス

第九章 掠奪ノ罪

第八十九條 戰地又ハ帝國軍、占領地ニ於テ住民、財物ヲ掠奪シタル者ハ一年以上、有期懲役ニ處ス

前項ノ罪、犯スニ當リ婦女ヲ強姦シタルトキハ無期又ハ七年以上、懲役ニ處ス

第九十條 戰場ニ於テ戰死者又ハ戰傷病者、衣服其、他、財物ヲ褫奪シタル者ハ一年以上、有期懲役ニ處ス

第九十一條 前二條ノ罪ヲ犯スニ、者人ヲ傷レタルトキハ無期又ハ七年以上、懲役ニ處シ死ニ致シタルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第九十二條 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十章 傷虜ニ關スル罪

第百三條 傳虜ヲ看守又ハ護送スル者其ノ傳虜ヲ逃走セシナル

トキハ三年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十四條 傳虜ヲ逃走セシノタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

傳虜ヲ逃走セシタル目的ヲ以テ器具ヲ給與シ其ノ他逃走ノ容易ナリシヘ行爲ヲ為シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ為シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲

役ニ處ス

第九十五條 傳虜ヲ奪取シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十六條 逃走シタル傳虜ヲ藏匿シ又ハ隠避セシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第九十七條 第九十三條乃至第九十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十一章 違令ノ罪

第九十八條 哨兵ヲ欺キテ哨所通過シ又ハ哨兵ノ制止ニ背キタル者ハ左

ノ區別ニ從テ處断ス

一 敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

前項ノ外哨兵ニ對シ哨令ヲ犯シタル者亦同ニ

第九十九條 在綱軍人故ナリ召集ノ期限ニ後シタルトキハ左ノ區別ニ從

テ處断ス

一 戰時ニ際シ又ハ事變ノ為召集ヲ受ケタル場合ニ於テ五日ヲ過ギ

タル者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ニ於テ十日ヲ過ヨタル者ハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第三百條 兵役ヲ免ル目的ヲ以テ疾病ヲ作為シ身體ヲ毀傷シ其ノ他詐偽ノ行為ヲ為シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

在綱軍人召集ヲ免ル目的ヲ以テ前項ノ行為ヲ為シタルトキ亦同ニ

第一百一條 戰時、軍中又、戒嚴地境ニ在リテ軍事ニ關スル虛偽ノ命令、

通報又、報告ヲ為シタル者ハ五年以下、懲役、處ス。

第一百二條 戰時又、事變ニ際シ軍事ニ關シ造言飛語、又、為シタル者ハ

三年以下、禁錮、處ス。

第一百三條 禮砲、號砲、其ノ他空包ヲ發スヘキ場合ニ於テ彈丸、瓦石、其、

他ノ物ヲ裝填シテ發シタル者ハ二年以下、禁錮、處ス。

第一百四條 哨兵又、衛兵故ナク銃砲ヲ發シタルトキハ二年以下、禁錮

・處ス。

第一百五條 戰時、軍中又、戒嚴地境ニ在リテ急呼、號報アリヨリ場合ニ致

ナリ來會セザル者ハ二年以下、禁錮、處ス。

第一百六條 政治ニ關シ上書、建白其ノ他請願ヲ為シ又、誣說若、文書ヲ以テ

意見ヲ公ニレタル者ハ三年以下、禁錮、處ス。

第一百七條 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ニシムトキハ首魁

ハ六月以上五年以下、禁錮、處し其ノ他ノ者ハ二年以下、禁錮

・處ス。

本法施行ノ期日、勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則
明治十四年、第十九號市告陸軍刑法ハ之廢止ス

陸軍刑法案理由書

刑法ノ改正ニ伴ヒ且不備點ヲ修補ニ為陸軍刑法ヲ改正スルノ
必要アリ是一本案ヲ提出シ所以ナリ

陸軍 刑法案理由書

刑法ノ改正ニ伴ヒ且不備ノ點ヲ修補ニ爲陸軍 刑法ヲ改正スルノ
必要アリ是一本案ヲ提出スル所以ナリ

陸

軍

刑

法

案

陸

軍
事
法
案

刑

法

案

陸軍刑法

第一編 罪

第二編 總則

第一章 叛亂ノ罪

第二章 擅權ノ罪

第三章 辱職ノ罪

第四章 抗命ノ罪

第五章 暴行脅迫ノ罪

第六章 侮辱ノ罪

第七章 逃亡ノ罪

第八章 軍用物損壊ノ罪

二

第九章 掠奪ノ罪

第十章 俘虜ニ關スル罪

第十一章 違令ノ罪

陸軍刑法

第一編 総則

第一條 本法ハ陸軍軍人ニシテ罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

第二條 本法ハ陸軍軍人ニ非スト雖左ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

一 第六十七條乃至第七十條ノ罪及此等ノ罪ノ未遂罪

二 第七十七條ノ罪

三 第八十二條乃至第八十八條ノ罪

四 第八十九條乃至第九十二条ノ罪

五 第九十四條乃至第九十六條ノ罪及第九十四條、第九十五条ノ未遂罪

六 第九十八条第一項、第九十九條第百條第二項及第一百二條ノ罪

第三條 本法ハ前二條ニ記載シタル者帝國外ニ於テ罪ヲ犯シタルトキト雖之ヲ適用ス

第四條 帝國軍ノ占領地ニ於テ陸軍軍人刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シタルトキハ之ヲ帝國內ニ於テ犯シタルモノト看做ス

陸軍軍人ニ非スト雖帝國臣民、從軍外國人及俘虜ノ犯シタルトキ亦前項ニ同シ

第五條 帝國外ニ在ル部隊ニ屬シ若ハ從フ者又ハ之ニ俘虜タル者其ノ部隊ノ所在地ニ於テ刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シタルトキ亦前條ニ同シ

第六條 陸軍ト共同作戦ニ從フ海軍軍人ニ對スル行爲ハ其ノ職務、官等、等級又ハ階級ニ相當スル陸軍軍人ニ對スル行爲ト看做ス

第七條 陸軍ト共同作戦ニ從フ外國ノ陸海軍ニ屬スル者ニ對スル行爲ハ其ノ職務、官等、等級又ハ階級ニ相當スル陸軍軍人ニ對スル行爲ト看做ス

第八條 陸軍軍人ト稱スルハ左ニ記載シタル者ヲ謂フ

一 陸軍ノ現役ニ在ル者但シ未タ入營セサル者及歸休兵ヲ除ク

二 召集中ノ在郷軍人

三 召集ニ依ラス部隊ニ在リテ陸軍軍人ノ勤務ニ服スル在郷軍人

四 前二號ニ記載シタル者ノ外陸軍ノ制服著用中又ハ現ニ服役上ノ義務履行中ノ在郷軍人

五 志願ニ依リ國民軍隊ニ編入セラレ服務中ノ者

第九條 左ニ記載シタル者ハ陸軍軍人ニ準ス

一 陸軍所屬ノ學生、生徒

二 陸軍軍屬

三 陸軍ノ勤務ニ服スル海軍軍人

前項第一號ニ記載シタル者ノ中特ニ除外スヘキ者アルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 陸軍將校相當官、陸軍准士官、海軍將校、同相當官及海軍准士官ハ陸軍將校ニ準ス陸軍士官

ノ候補者ニシテ士官ノ勤務ニ服スル者及海軍候補生亦同シ

第十一條 陸軍士官ノ候補者ニシテ下士ノ階級ニ在リ士官ノ勤務ニ服セサル者ハ陸軍下士ニ準ス

第十二條 陸軍ノ兵役ニ在リテ官等、等級ヲ有セサル者ハ兵卒ニ準ス陸軍士官ノ候補者ニシテ兵卒ノ階級ニ在ル者亦同シ

第十三條 在郷軍人ト稱スルハ陸軍ノ現役以外ノ役ニ在ル者、陸軍ノ現役ニ在リテ未タ入營セサル者、陸軍ノ歸休兵及退役陸軍將校、同相當官、准士官ヲ謂フ

第十四條 陸軍軍屬ト稱スルハ陸軍文官、同待遇者及宣誓シテ陸軍ノ勤務ニ服スル者ヲ謂フ但シ豫備又ハ退職ノ文官ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 海軍軍人ト稱スルハ海軍刑法ニ於テ海軍軍人ト爲ス者ヲ謂フ

第十六條 上官ト稱スルハ命令關係アル陸軍軍人間ニ於テ命令權ヲ有スル者ヲ謂フ

命令關係ナキ者ノ間ニ於テハ官等、等級又ハ階級ノ上ナル者ハ之ヲ上官ニ準ス但シ兵卒ハ下士勤務上等兵ヲ除クノ外總テ同等トス

第十七條 司令官ト稱スルハ軍隊ノ司令ニ任スル陸軍軍人ヲ謂フ

第十八條 哨兵ト稱スルハ儀仗又ハ警戒ノ爲守地ニ在ル陸軍軍人ヲ謂フ

第十九條 部隊ト稱スルハ陸軍ノ軍隊、官衙、學校、特務機關及戰時ニ於ケル陸軍ノ特設機關ヲ謂フ

第二十條 戰時ト稱スルハ宣戰ノ公布アリタル時又ハ現ニ開戰シタル時ヨリ平和克復ノ時迄ヲ謂フ

フ

第二十一條 軍中ト稱スルハ左ニ記載シタル部隊ニ在ル場合ヲ謂フ

一 戰時ノ體勢ヲ執リタル部隊但シ留守部隊、衛戍勤務ニ服スル後備又ハ國民諸隊、戰地以外ノ地ニ在ル輸送又ハ補給諸機關ニシテ對敵狀態ニ在ラサルモノヲ除ク

二 戰時ノ體勢ヲ執ラサルモ對敵狀態ニ在ル部隊

三 内亂、事變又ハ一地方ノ騒擾ニ際シ其ノ鎮定ニ從事スル部隊

第二十二條 陸軍ニ於テ死刑ヲ執行スルトキハ陸軍法衙ヲ管轄スル長官ノ定ムル場所ニ於テ銃殺ス

第二十三條 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ニ依リ處斷シタル場合ニ亦之ヲ適用ス

第二十四條 多衆共同ノ暴行ヲ鎮壓スル爲又ハ敵前ニ在ル部隊ノ急迫ニ臨ミ軍紀ヲ保持スル爲已ムコトヲ得サルニ出テタル行爲ハ之ヲ罰セス

必要ノ程度ヲ超エタル行爲ハ情狀ニ因リ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二十五條 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ノ罪ト爲ルヘキ行爲ニ亦之ヲ適用ス

第二十六條 本法ニ依リ死刑ニ處セラレタル者其ノ執行ノ免除アリタル日ヨリ五年内ニ更ニ本法、刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シ有期徒役ニ處スヘキトキハ前ノ罪ヲ懲役ニ該ル罪ト同質ノ罪ト認ムルトキニ限り之ヲ再犯トス

第二十七條 本法及海軍刑法ニ於テ俱ニ罰スヘキ正條アリ且其ノ刑ニ輕重ナキトキハ陸軍軍人ニ準スル者ト雖海軍軍人ニ對シテハ海軍刑法ヲ適用ス

第二編 罪

第一章 叛亂ノ罪

第二十八條 黨ヲ結ヒ兵器ヲ執リ反亂ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁ハ死刑ニ處ス

二 謀議ニ參與シ又ハ群衆ノ指揮ヲ爲シタル者ハ死刑、無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他諸般ノ職務ニ從事シタル者ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 附和隨行シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第二十九條 反亂ヲ爲ス目的ヲ以テ黨ヲ結ヒ兵器、彈薬其ノ他軍用ニ供スル物ヲ劫掠シタル者ハ

前條ノ例ニ同シ

第三十條 左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス

一 軍隊又ハ要塞、陣營、艦船、兵器、彈薬其ノ他軍用ニ供スル場所若ハ物ヲ敵國ニ交付シタルトキ

七

- 二 敵國ノ爲ニ間諜ヲ爲シ又ハ敵國ノ間諜ヲ幫助シタルトキ
- 三 軍事上ノ機密ヲ敵國ニ漏泄シタルトキ
- 四 敵國ノ爲ニ嚮導ヲ爲シ又ハ地理ヲ指示シタルトキ
- 五 敵國ニ降ラシムル爲司令官ヲ強要シタルトキ
- 六 敵國ノ爲ニ俘虜ヲ奪取シ又ハ之ヲ逃走セシメタルトキ
- 第三十一條 敵國ヲ利スル爲左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス
- 一 要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル場所又ハ物ヲ損壊シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタルトキ
- 二 水陸ノ通路、橋梁ヲ損壊又ハ壅塞シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ軍隊、艦船ノ往來ノ妨害ヲ生セシメタルトキ
- 三 司令官軍隊ヲ率ヰテ守地若ハ配置ノ地ニ就カヌ又ハ其ノ地ヲ離レタルトキ
- 四 隊兵ヲ解散シ又ハ其ノ潰走混亂ヲ誘起シ又ハ其ノ連絡集合ヲ妨害シタルトキ
- 五 兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ヲ缺乏セシメタルトキ
- 六 命令、通報若ハ報告ヲ詐リ博ヘ又ハ虛偽ノ命令、通報若ハ報告ヲ爲シタルトキ
- 七 造言飛語シ又ハ敵前ニ於テ叫呼喧噪シタルトキ
- 第三十二條 前二條ニ記載シタル以外ノ方法ヲ以テ敵國ニ軍事上ノ利益ヲ與ヘ又ハ帝國ノ軍事上ノ利益ヲ害シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ五年以上ノ懲役ニ處ス
- 第三十三條 反亂者又ハ内亂者ヲ利スル爲前三條ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑、無期若ハ三年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス
- 第三十四條 前六條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス
- 第三十五條 第二十八條乃至第三十三條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第三十六條 第二十八條又ハ第二十九條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者未タ事ヲ行ハサル前自

首シタルトキハ其ノ刑ヲ免除ス

第三十七條 本章ノ規定ハ戰時同盟國ニ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

第二章 擾權ノ罪

第三十八條 司令官外國ニ對シ故ナク戰鬪ヲ開始シタルトキハ死刑ニ處ス

第三十九條 司令官休戰又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタル後故ナク戰鬪ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第四十條 司令官權外ノ事ニ於テ己ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ軍隊ヲ進退シタルトキハ

死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第四十一條 命令ヲ待タス故ナク戰鬪ヲ爲シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第四十二條 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三章 辱職ノ罪

第四十三條 司令官其ノ盡スヘキ所ヲ盡サスシテ敵ニ降リ又ハ要塞ヲ敵ニ委シタルトキハ死刑ニ處ス

第四十四條 司令官野戰ノ時ニ在リテ隊兵ヲ率井敵ニ降リタルトキハ其ノ盡スヘキ所ヲ盡シタル場合ト雖六月以下ノ禁錮ニ處ス

第四十五條 司令官敵前に於テ其ノ盡スヘキ所ヲ盡サスシテ隊兵ヲ率井逃避シタルトキハ死刑ニ處ス

處ス

第四十六條 司令官軍隊ヲ率井故ナク守地若ハ配置ノ地ニ就カヌ又ハ其ノ地ヲ離レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ五年以上ノ有期禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第四十七條 司令官出兵ヲ要求スル權アル官憲ヨリ其ノ要求ヲ受ケ故ナク之ニ應セサルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第四十八條 將校部隊若ハ一部ノ兵員ヲ率ヰ又ハ之ニ屬シ輸送船舶ニ在リテ敵ノ艦船ニ遭遇シタル際其ノ盡スヘキ所ヲ盡サヌシテ其ノ船舶ヲ退去シタルトキハ死刑、無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

又ハ禁錮ニ處ス

第四十九條 部下多衆共同シテ罪ヲ犯スニ當リ鎮定ノ方法ヲ盡ササル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十條 哨兵故ナク守地ヲ離レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十一條 哨兵睡眠又ハ酩酊シテ其ノ職務ヲ怠リタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十二條 衛兵、控兵、巡察、斥候其ノ他警戒又ハ傳令ノ勤務ニ服スル者故ナク勤務ノ場所若ハ隊

伍ヲ離レタルトキ又ハ到ルヘキ場所ニ到ラサルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十三條 故ナク規則ニ依ラスシテ哨兵ヲ交代セシメ其ノ他哨令ニ違反シタル者ハ左ノ區別ニ

從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十四條 戰時、軍中又ハ 戒嚴地境ニ在リテ軍事ニ關スル命令、通報又ハ 報告ノ傳達ヲ掌ル者其ノ命令、通報若ハ 報告ヲ詐リ博ヘ又ハ 故ナク之ヲ傳達セサルトキ亦前項ニ同シ

爲シタルトキハ七年以下ノ懲役ニ處ス

戰時、軍中又ハ 戒嚴地境ニ在リテ軍事ニ關スル命令、通報又ハ 報告ノ傳達ヲ掌ル者其ノ命令、通報若ハ 報告ヲ詐リ博ヘ又ハ 故ナク之ヲ傳達セサルトキ亦前項ニ同シ

第五十五條 軍事機密ノ圖書、物件ヲ保管スル者危急ノ時ニ當リ之ヲ敵ニ委セサル方法ヲ盡ササルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十六條 戰時、軍中又ハ 戒嚴地境ニ在リテ兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ノ運搬又ハ 支給ヲ掌ル者故ナク之ヲ缺乏セシメタルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第五十七條 健康ヲ害スヘキ飲食物ヲ配給シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス因テ人ヲ死一致シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第五十八條 從軍ヲ免レ又ハ危險ナル勤務ヲ避クル目的ヲ以テ 疾病ヲ作爲シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐偽ノ行爲ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第五十九條 第四十三條、第四十五條、第四十六條、第四十八條、第五十條、第五十二條、第五十四條及第五十六條乃至第五十八條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四章 抗命ノ罪

第六十條 上官ノ命令ニ反抗シ又ハ之ニ服從セサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ 戒嚴地境ナルトキハ一年以上七年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第六十一條　黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑又ハ無期禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ首魁ハ無期又ハ五年以上ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ一年以上

十年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ三年以上十年以下ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ五年以下ノ禁

錮ニ處ス

第六十二條　暴行ヲ爲スニ當リ上官ノ制止ニ從ハサル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第五章　暴行脅迫ノ罪

第六十三條　上官ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

役又ハ禁錮ニ處ス

第六十四條　黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三年以上ノ有期ノ懲

役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ十年以

ス

一 敵前ナルトキハ死刑、無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ無期若ハ二年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十五條　上官ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用ヒテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷

一 敵前ナルトキハ死刑、無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ無期若ハ二年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十六條　黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑、無

期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十七條 哨兵ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十八條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ十年以下ノ懲役

又ハ禁錮ニ處ス

第六十九條 哨兵ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用ヰテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處

以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十九條 哨兵ニ對シ兵器又ハ兇器ヲ用ヰテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處

断ス

一 敵前ナルトキハ無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十條 黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ無期若ハ七年以上

ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ首魁ハ死刑、無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者

ハ無期若ハ二年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十一條 上官又ハ哨兵以外ノ陸軍軍人其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲

シタル者ハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

黨與シテ前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ首魁ハ六月以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者

十九

ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二十一

第七十二條 上官又ハ哨兵以外ノ陸軍軍人其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シ兵器又ハ凶器ヲ用井テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

黨與シテ前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ首魁ハ無期若ハ三年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十三條 多衆聚合シテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一首魁ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 他人ヲ指揮シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

ス

三 附和隨行シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十四條 職權ヲ濫用シテ陵虐ノ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十五條 第六十三條乃至第七十三條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第六章 滅辱ノ罪

第七十六條 上官ヲ其ノ面前ニ於テ侮辱シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

文書、圖畫若ハ偶像ヲ公示シ又ハ演説ヲ爲シ其ノ他公然ノ方法ヲ以テ上官ヲ侮辱シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十七條 哨兵ヲ其ノ面前ニ於テ侮辱シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十八條 故ナク職役ヲ離レ又ハ職役ニ就カサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ死刑、無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ三日ヲ過キタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ニ於テ六日ヲ過キタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十九條　黨與シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ首魁ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ死刑、無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ三日ヲ過キタルトキハ首魁ハ五年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ六年以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ニ於テ六日ヲ過キタルトキハ首魁ハ一年以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十條　敵ニ奔リタル者ハ死刑又ハ無期ノ懲役若ハ禁錮ニ處ス

第八十一條　第七十八條第一號、第七十九條第一號及前條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八章　軍用物損壊ノ罪

第八十二條　陸軍ノ工場、船舶、戰鬪ノ用ニ供スル建造物、汽車、電車若ハ橋梁又ハ陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ貯蔵スル倉庫ヲ燒燬シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第八十三條　露積シタル兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ燒燬シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

二 其ノ他ノ場合ナルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第八十四條　火薬、汽罐其ノ他激發スヘキ物ヲ破裂セシメテ前二條ニ記載シタル物ヲ損壊シタル者ハ燒燬ノ例ニ同シ

第八十五條　第八十二條ニ記載シタル物又ハ陸軍戰鬪ノ用ニ供スル鐵道、電線若ハ水陸ノ通路ヲ損壊シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第八十六條　兵器彈藥、糧食被服、馬匹其ノ他陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ毀棄又ハ傷害シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十七條 第八十二條乃至第八十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八十八條 本章ノ規定ハ陸軍ト共同作戦ニ從フ外國陸海軍ノ軍用物ニ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

ス

第九章 掠奪ノ罪

第八十九條 戰地又ハ帝國軍ノ占領地ニ於テ住民ノ財物ヲ掠奪シタル者ハ一年以上ノ有期徒役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯スニ當リ婦女ヲ強姦シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第九十條 戰場ニ於テ戰死者又ハ戰傷病者ノ衣服其ノ他ノ財物ヲ覬奪シタル者ハ一年以上ノ有期徒役ニ處ス

第九十一條 前二條ノ罪ヲ犯ス者人ヲ傷シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處シ死ニ致シタルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第九十二條 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十章 俘虜ニ關スル罪

第九十三條 俘虜ヲ看守又ハ護送スル者其ノ俘虜ヲ逃走セシメタルトキハ三年以上ノ有期徒役ニハ七年以下ノ懲役ニ處ス

處ス

第九十四條 俘虜ヲ逃走セシメタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

俘虜ヲ逃走セシムル目的ヲ以テ器具ヲ給與シ其ノ他逃走ヲ容易ナラシムヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十五條 俘虜ヲ奪取シタル者ハ二年以上ノ有期徒役ニ處ス

第九十六條 逃走シタル俘虜ヲ藏匿シ又ハ隠避セシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第九十七條 第九十三條乃至第九十五条ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十一章 違令ノ罪

二十六

第九十八條 哨兵ヲ欺キテ哨所ヲ通過シ又ハ哨兵ノ制止ニ背キタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 敵前ナルトキハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

二 軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

前項ノ外哨兵ニ對シ哨令ヲ犯シタル者亦前項ニ同シ

第九十九條 在郷軍人故ナク召集ノ期限ニ後レタルトヤハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 戰時ニ際シ又ハ事變ノ爲召集ヲ受ケタル場合ニ於テ五日ヲ過キタル者ハ二年以下ノ禁錮ニ

處ス

二 其ノ他ノ場合ニ於テ十日ヲ過キタル者ハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百條 兵役ヲ免ルル目的ヲ以テ疾病ヲ作爲シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐偽ノ行爲ヲ爲シタル者

ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

在郷軍人召集ヲ免ルル目的ヲ以テ前項ノ行爲ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同シ

第一百一條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ軍事ニ關スル虛偽ノ命令、通報又ハ報告ヲ爲シタル者

ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第一百二條 戰時又ハ事變ニ際シ軍事ニ關シ造言飛語ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百三條 禮砲、號砲其ノ他空包ヲ發スヘキ場合ニ於テ彈丸、瓦石其ノ他ノ物ヲ裝填シテ發シタル者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百四條 哨兵又ハ衛兵故ナク銃砲ヲ發シタルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百五條 戰時、軍中又ハ戒嚴地境ニ在リテ急呼ノ號報アリタル場合ニ故ナク來會セサル者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百六條 政治ニ關シ上書、建白其ノ他請願ヲ爲シ又ハ演說若ハ文書ヲ以テ意見ヲ公ニシタル者

二十八

ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百七條 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ六月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治十四年第六十九號布告陸軍刑法ハ之ヲ廢止ス

陸軍刑法案理由書

刑法ノ改正ニ伴ヒ且不備ノ點ヲ修補スル爲陸軍刑法ヲ改正スルノ必要アリ是レ本案ヲ提出スル所以ナ

リ

陸軍刑法案印刷物中
十七頁二行トキハノ下「首魁」ノノ股ニ
右之通印刷物中誤認有乞候間為念此段及
通知候也

明治四十二年二月二十九日

内閣書記官

續兩院書記官所中

明治四十一年八月九日

陸軍省副官立花小一郎

内閣書類監査官



一 陸軍副官立花小一郎
二 陸軍副官立花小一郎
三 陸軍副官立花小一郎